

磐城大衆新聞

毎月二回 一日十五日發行
 定價 一部十錢
 廣告料 一行五十錢
 場所指定 十増
 編輯人 長谷川兵衛
 印刷人 長谷川兵衛
 福島縣平町材木町三十六番地
 發行所 磐城大衆新聞社

豫算緊縮の一途は

役場改築延期あるのみ

政府の方針と平町

平町では緊縮整理方針の上から第三學校より第四學校から本年度豫算經常臨時部建設の聲高い折柄としてこれ総額百六萬九千九百七十九を延期するわけにはゆかない圓を如何に伏見町長、遠藤、状態である、又上水道敷助役は實行編成に當るか日 改費卅七萬圓(二ヶ年繼續トこれが編成に行き惱んで上事)現在やつとのことであることは既報の如く豫算町民に給水してゐる状況で總額六萬九千九百七十九圓 火災等の非常時に對する防その一割を削減するとして 火水が心細く思はれる危険も十萬六千九百九十七圓九 性な水道であるのでその筋一錢の整理緊縮をなさなければ 起債を促進してまでも賸れば少くとも緊縮の主旨に行きたい必要に迫られてあ副はないで先づこれを するのでこれも削減や敷設延三小學校増築費の七萬八千 期などは到底出来ないの圓であるが既に工事に着手 第三の役場改築費し現在の學校學級數では八萬三千圓であるがこれが度に狹隘を感じてゐる關係 實行豫算編成に當つて第一

今年も平年作の

十八萬石を二割突破?

日照りに不作なし

諺の如く豊年萬作は疑なし

石城郡下の稲作状態は既に二割以上の收穫が出穂揃ひとなる時期に到達 あるものと確信されるに至つたので見るべき關係筋のつた、昨年の秋の實收は十六調査によりと傳へられたる 萬石であつて今秋の米作はカン害は至つて小區域で所此の分にて推移すれば約十しとの例えの如く先づ豊年謂大耕土は何れも豊作の實八萬石を數へるのではある情にあるので平年作に比すまいかと豫期されるのであつたの危日である此九月一日

に問題となつてゐる役場改築は無事に経過を見るもので

健實なる政策の實行者

坂田順治君

常磐炭礦界の中心點なる内學を研究し、信する所あり郷村白水に巨大なる礦區をて則ち加納金星炭礦を經營有し數百人の従業員を僱役するに至れり君の性や實に主、我が坂田順治君を御實を主義と實行なし、從業紹介するの機會を得たるを員と俱に協力して他山の追光榮とす

我が坂田君は、南日本九州行しつゝあり、斯界の經營は八幡の産にして、幼少時已に極度に行詰れる今日快代より一變せる性格の持主然とし最も意義ある經營はにして神童と稱せられたり真に我が坂田君の手腕力量成長後東都に出て大に嶺山の偉大なるを立證するものす云々

禁酒の功德

年に十五億圓の節約

六十億の國債が四年で返せる

日本禁酒同盟が本日(九月一日)を期して全國的大宣傳日本國民禁酒同盟が發起となり文部内務兩省を始めとして全國的に社會學業及教化事業團體、宗教團體、教育婦人團、青少年團、軍人會其他の諸團體と共に同して九月一日を大震災災記念に全國一齊に酒なし日となし徹底的禁酒宣傳を取行する等である、

而して結果を物語れば左の通りである、
 現在我國民の一ヶ年の酒代金は十五億圓、一人當り二十五圓、一家五人として百二十五圓宛宛飲んで居る、その爲めに費す酒造米四百六十六萬石は四百十三萬人の食糧米に當る、飲酒者は罹病率が二倍半多くは壽命も平均十二年も短かいと云ふ多

荒井市太郎君の

新任と希望

今般の縣下警察界の異動の發表に依つて富岡署より市制實施せんとする大平町の署長に榮轉せる我が荒井市太郎氏を迎ひたる三萬町民は勿論署管内一般は大なる希望を以て其活動を期待するものである、

新任の猪狩君は頗る〇〇方面に感心せぬ評などもあつて殊に出發の際の如き本社に如き小新聞社に對しては一言半句の御挨拶もなしであつた、兎角署内の空氣を一新して〇〇界邊りより四の五のと云れざる事を希望す云々

大衆片々

● 殺人的の暑氣も全く去らず日中の暑き往々にして高度を示す

● 然れども朝な夕な涼冷は初秋を物語るものである、初秋、秋は悲しきから有史以來特に回顧する大正十二年九月一日關東の大震災は七ヶ年以前の本月本日なるべし、

● 彼の惨状甚大なる被害に於ても物質に於ても損失の巨大なる者を顧みず哉冷靜に考察せよ、現在の國民生活浮薄に流れて停止する所を知らず

● 順境のみを幸福と信する勿れ若し時の神頼みは何等の靈現なし

● 震災記念に全國的禁酒デモを決定すると其計畫實行に良し

● 「酒なくて何んの己れが花見哉」の時代は過去ならん、酒の善用は健康増進の一要素たらんも亂用は遂に一身一家の破滅の基とならん

● 犯罪の原動力は酒にあるを警りて慎みて用ひよ緊揮一番緊張して俱に經濟難打開の對策に奮闘せよ

● 徒らに政府のみに任す勿れ七千萬同胞と協力一致して新興の新日本の建設に努めよ

● 小柳知事 平町に開催せる濱三郡町長會に臨んで現政府の緊縮政策を説く政府の意を體して克く改善實行して其成果を收めよ

● 農村病虫害の甚大なるに各指導者何れも振はず手間取り根性の發揮には恐入るのみ

● 縣農會郡農會等の廢止説を高唱する人民あるは決して偶然の出來事に非ざるを知れ

● 彼れ等の指導に依りて東北のデンマークの建設などとは痴人の夢と化せんか

● 農村の青年達よ徒らに誠意なき指導者の無力を信賴するな自力本願を以て自己建設に努めよ

● 平町役場並に有志家の發起より成れ、平町署長の記念贈呈の寄付は何を意味するならんか

● 寄付は任意にして決し強制すべきもの非ず

● 殊に前警察署長など贈る一文の金の惜き事一通りにあらず哉

● 禮を知らざるものに禮を以て盡すなどは愚の骨頂ならんか

● 女子教育者青年指導者などは素行上に於て大に顧みて慎みよ

● 初秋の副産物として傳染病の流行益々多し實に寒心に堪ず町民諸子よ命あつて物種なるを知れ

郷土愛に強く敬神の 念深き高久村會議員 本馬長之助君

君は高久村々會議員中最も投じて唐獅子を一對奉納せ

温厚圓満の人格者にして、其他近隣の神祇佛閣等
年度の改選に際し高點を以て莫大なる奉納せりと聞
て重任せり

君の如き日數の村議を選に入に賞讃するに大なる價
出せる大字區民も復た村自あるものである、本馬氏の
治体に克明なりと謂ざるを自己庭園内にも數十貫の重
待す、共に高久村の農産業量ある獅子を建設せしと聞
の向上發達に協力せられん

我が本馬君は非常に敬神のして公共事業に献身的に努
信念、深強にして昨年十一月ある人物は稀れに見るもの
月に御大典記念として村社である、幸に御自重あらん
八幡神社の境内に數百圓を奉る

縣會議員令夫人

訪問の印象

記者 長谷川紫水

新聞記者或は一社の主幹不在中なれば、淑かに記者
ど申しましたも矢張り理解を稿ふて與へ姿を消せり、
ある多くの諸氏の御援助と主人不在なれども稱して手
自己の熱と力を以て天職の人の代理行為を決然と實行
使命を完するものであるし來訪者に不快の念を抱か
記者は此の最も理解ある援ざるの賢夫人の態度は富に
助者たる縣會議員諸氏の私好評ある山崎縣議の四助の
宅を訪問せし際頭に鑑じた功大なりしを思ふものであ
る儘赤裸々に其訪問記を語ると思ふて敬意を表して心
り申さん

(一) 山崎吉平氏夫人 (二) 野崎滿藏氏夫人

酷暑尙去らず流汗甚しく記平町の最も華やかなる紅燈街
者は砂煙の小道を辿りつゝの一角林家の門を訪れたる
中町郊外谷川瀨邊り私宅を午後三時頃なりき、記者
訪れる、取次女中に來意を野崎先生に是非御面會を
示せば令夫人徐ろ玄關に姿とオモムロ來意を語れば令
を現はし、只今主人は上京夫人突如として出て來りて

實に無愛嬌なる態度を以てを消す、何たる不快なる印
記者は門前拂の悲運に接せ象なりや、呆然として鳥つき折柄遠路苦勞であつた宛土産とし貰受け欣然とし
り如何に小新聞記者たりとく暇もあらず近來なき不快との誠に可憐なる御挨拶にて辭す、夫君が縣參事員に
雖も、尙も縣會議員の令夫人事なりき、最も彼れの前身は恐縮

入たるものが自己の前身は茨城縣那珂湊の産然かも
切と誠意とを以て吾人等にの鹿志龜島村龜吉の長
接待するの禮を知らざる事、女にして、不潔と亦貧の内
其だしく不快の念と夫君縣に生れ、成長して同地の名
議野崎君の前途に何物の暗望家角仙學、高岡平右衛門
影あるが如き誠感の下に辭氏の下に嫁せしが淡香茨城
せり、最も御商賣柄、親切縣下第一と稱せられたる海
と誠意との持合せはなきも産物大間屋も一朝にして没
のなり哉、と記者は推定せ

り、然れども野崎夫人を少しく政治家の妻らしきり、所謂の無情なる父親、
態度を御修養あらん事を希て實家に立歸りて徒食する
ののみたりき、某の媒介する人ありて米屋の若旦那傳
ヤン許に花嫁として彼れは來りたる十二年後前の昔
日及びと思ふ、此等の古事

歴を有する彼れが記者を八間視せず、萬物の屑の如き扱を爲して縣議令夫人など稱するは片腹痛き次第である、復た昨年未孤兒院の寄附など、大失敗して夫君傳公顔に泥を塗布せし珍談も豊富にあるが此處で筆を擱め、が、次回に賞する夫君傳公を以て地方議政壇上に送るの意志あらば今少しく世間並の御取扱ひを願度く希望し且つ深甚なる警告を與へて記者は失敬する

(三) 古川傳一氏

令夫人

舊盆四日か前の午後、記者は汽車に投乗して郡南の地植田町に到れり、氏の植田町は上町と下町の兩酒屋より二縣會議員を選出せるに程に政治的に區民が自覺せるものと思ふ、亦た偉大な人物も多々にあるが我が古川傳一氏にありては壯少より縣會座の花形役者殊にモダンボーイの尊稱を蒙りたる如き明快の腦細胞の所屬者たるは萬人の周知の事實である、記者は氏の明快の新人たる古川縣議の令夫人も亦た似たるもの夫婦たるの例えの如く圓滿なる淑女ならんと大なる期待を持て古川氏宅を訪問せり

然るに彼の神経質個性にて記者を失禮たる態度に擊退して、平坦と奥に委屋の鷺清昇氏宅を訪問す、

紅燈の巷より

紫水

▲誰も四角だの三角だのとする譯けでありませぬ、四圍の環境がするのです、上野哲學でも發見した如く頑張るのは誰か、甘く當てて下さい玉代十本の懸賞です

▲舊盆には田町紅街も若かき心を以て踊つた様でね、舊十五日夜成駒家を背かにして五色町へ乗込んだ、家○助君、偶然にも元の古馴染○さんに逢つたね、○さん不字で困るからね二本で善いから頂戴と甘たれたスタイルは満點だよ

▲然しね姐さん株丈に可愛想にもなりますよ、御同情ある諸君呼んで呉れ給ひ

▲藝妓の戀はカラタチの花の如く花は咲けども實は成すと、誰か平館のカラ

との騒ぎはれ早て知らぬ、元三島家の當八、堅氣と振りして姥の湯へ〇一泊したの誰かね、玉代の罰も當るつて六つたけよ誰がさ仲家の願助と品澤の蝶々がね

▲竹の家音羽、去る夜平館の火陣を觀て、豆の如き涙を流して泣いて居つたけ、ナゼ泣くのは實せばアノ千惠藏の顔が初戀の〇さんソックリですもの御最も、御同情致しませよ

▲升美姐さん御城山邊に陣取つたと思ふたら戀の辻浦に非ず常陸の土浦へと御榮轉、土浦は阿見飛行場が近いから飛行船の彼れには當るでせうと誰か心配の人もあるてな

▲猪狩平署長殿の戸別訪問には恐入りました、然かもオートバイで料理屋藝妓屋丈へね、グートバイとはね？？でせうが誰かと申す由

▲の色男は金と力がなかつたソ、然し現代の色男は金と眼とがないとの事、多角聯盟でも多少はね考ひられる、せうよ

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵
釜屋商店

電話 九番 一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は釜屋の生命なり